

令和7年度障害のある方のスポーツに関する調査

令和8年3月 滋賀県



令和7年度障害のある方のスポーツに関する調査 目次

I	調査について	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
3	備考	1
II	調査結果	2
1	回答者の属性	2
(1)	年齢	2
(2)	性別	3
(3)	居住地	3
(4)	障害の種類	4
2	スポーツ・レクリエーションの実施状況	6
(1)	過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数	6
(2)	過去1年間に行ったスポーツ・レクリエーション	10
(3)	スポーツ・レクリエーションを行う場所	11
(4)	スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ	14
(5)	スポーツ・レクリエーションを行う目的	17
(6)	スポーツ・レクリエーションに取り組む際の課題	19
(7)	過去1年間の「自身がスポーツ・レクリエーションをする」以外の関わり	23
(8)	過去1年間のスポーツ・レクリエーションの観戦状況	25
(9)	「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」後のスポーツへの興味・関心	28
III	調査設問	30

I 調査について

1 調査の目的

第3期滋賀県スポーツ推進計画で指標としている障害者のスポーツ実施率（令和9年度目標50%以上）について、令和7年度の状況を把握するとともに、今後のパラスポーツ施策における基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の概要

(1) 調査対象：滋賀県内在住の7歳以上の障害児・者

(2) 調査方法：無記名式の質問紙法

以下の団体を通じて調査票を配布

- ・公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会
- ・公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会
- ・特定非営利法人滋賀県精神障害者家族会連合会

(3) 主な調査内容

- ・年齢、性別、居住地、障害種別などの属性
- ・スポーツ・レクリエーションの実施状況
- ・スポーツ・レクリエーションに取り組む際の課題
- ・過去1年間の「自身がする」以外のスポーツ・レクリエーションとの関わり
- ・過去1年間のスポーツ・レクリエーションの観戦状況
- ・「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」後のスポーツへの興味・関心

(4) 回答者数

1,276人（配布数：3,400枚、回収率：37.5%）

(5) 調査期間：令和8年1月8日～2月6日

3 備考

- ・本調査は、滋賀県スポーツ推進計画の策定時・中間年・最終年に実施することとし、前回調査は令和4年度に実施している。次回は令和9年度に実施予定。
- ・比率はすべて、各項目の無回答を含む合計数（集計対象を限定する場合はその該当対象数）に対する百分率（%）で表している。複数回答の項目では、百分率の合計は100%を超える。
- ・百分率は小数点以下第2位を四捨五入したため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

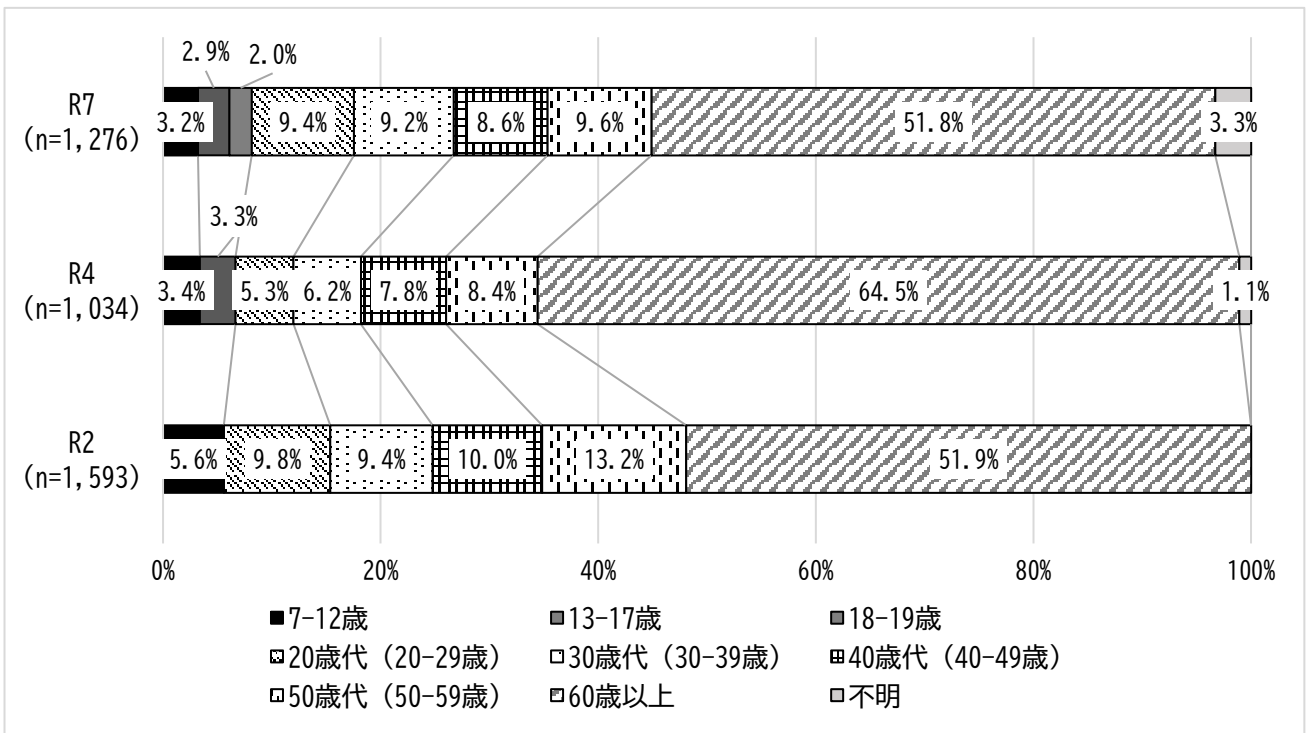
II 調査結果

1 回答者の属性

(1) 年齢

7-19歳が8.1%、20-29歳が9.4%、30-39歳が9.2%、40-49歳が8.6%、50-59歳が9.6%、60歳以上が51.8%であった。【図表1】

【図表1】年齢

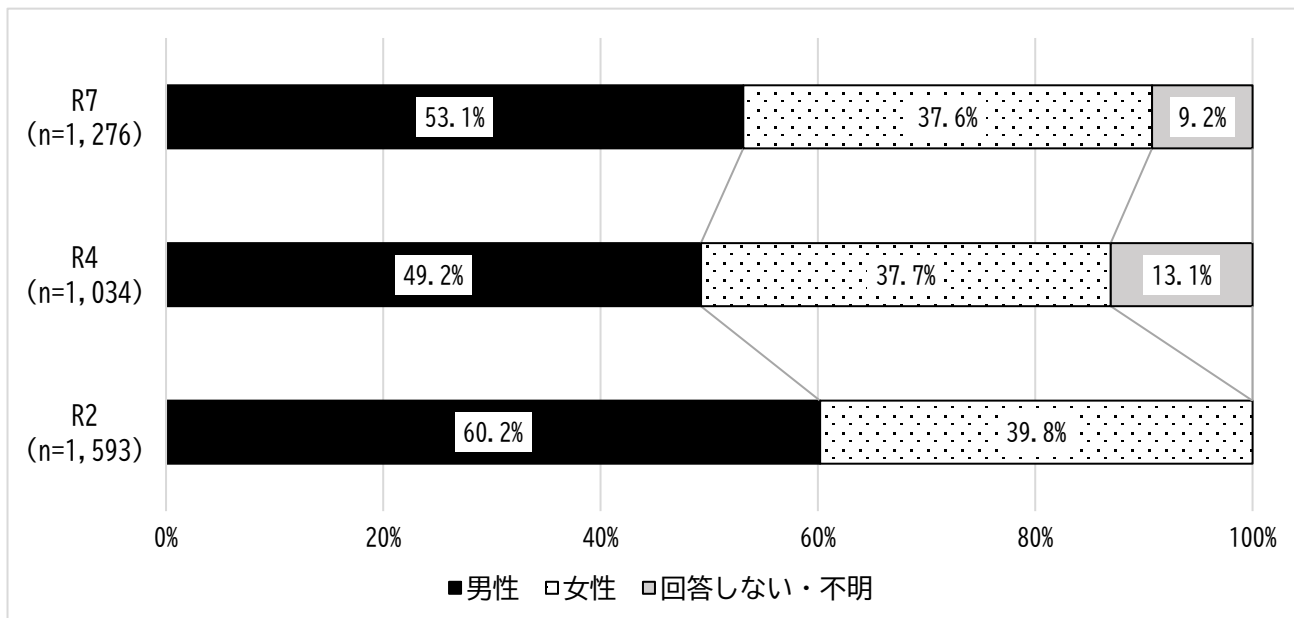


※18-19歳の選択肢はR7年度から追加、R2年度は7-19歳、R4年度は7-12歳・13-19歳の選択肢

(2) 性別

男性が53.1%、女性が37.6%であった。【図表2】

【図表2】性別

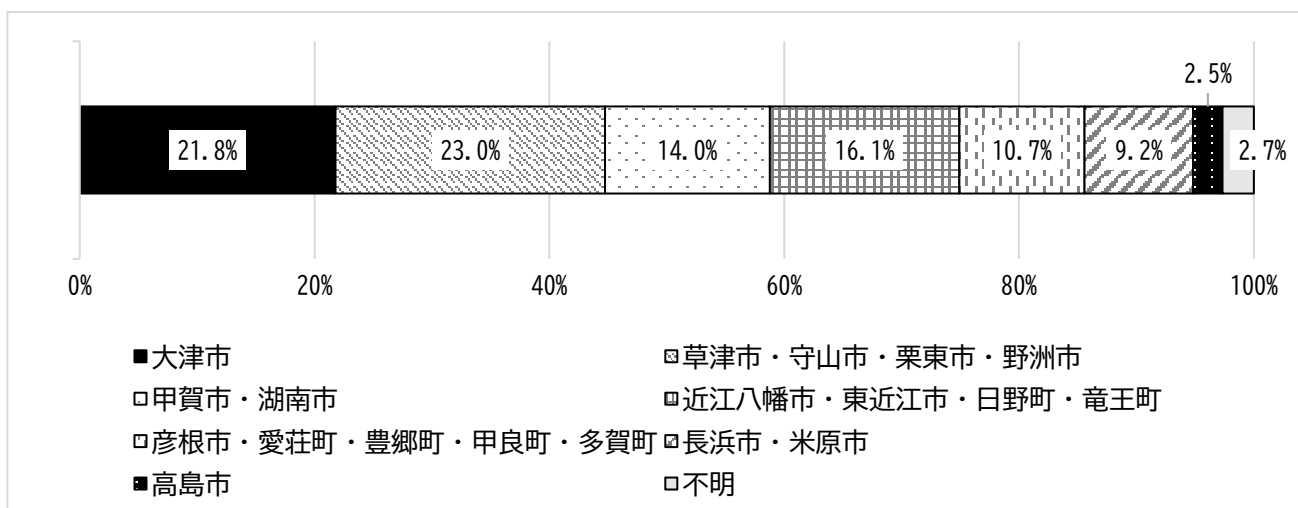


※「回答しない」はR4年度から選択肢を追加

(3) 居住地

大津圏域が21.8%、南部圏域が23.0%、甲賀圏域が14.0%、東近江圏域が16.1%、湖東圏域が10.6%、湖北圏域が9.2%、高島圏域が2.5%であった。【図表3】

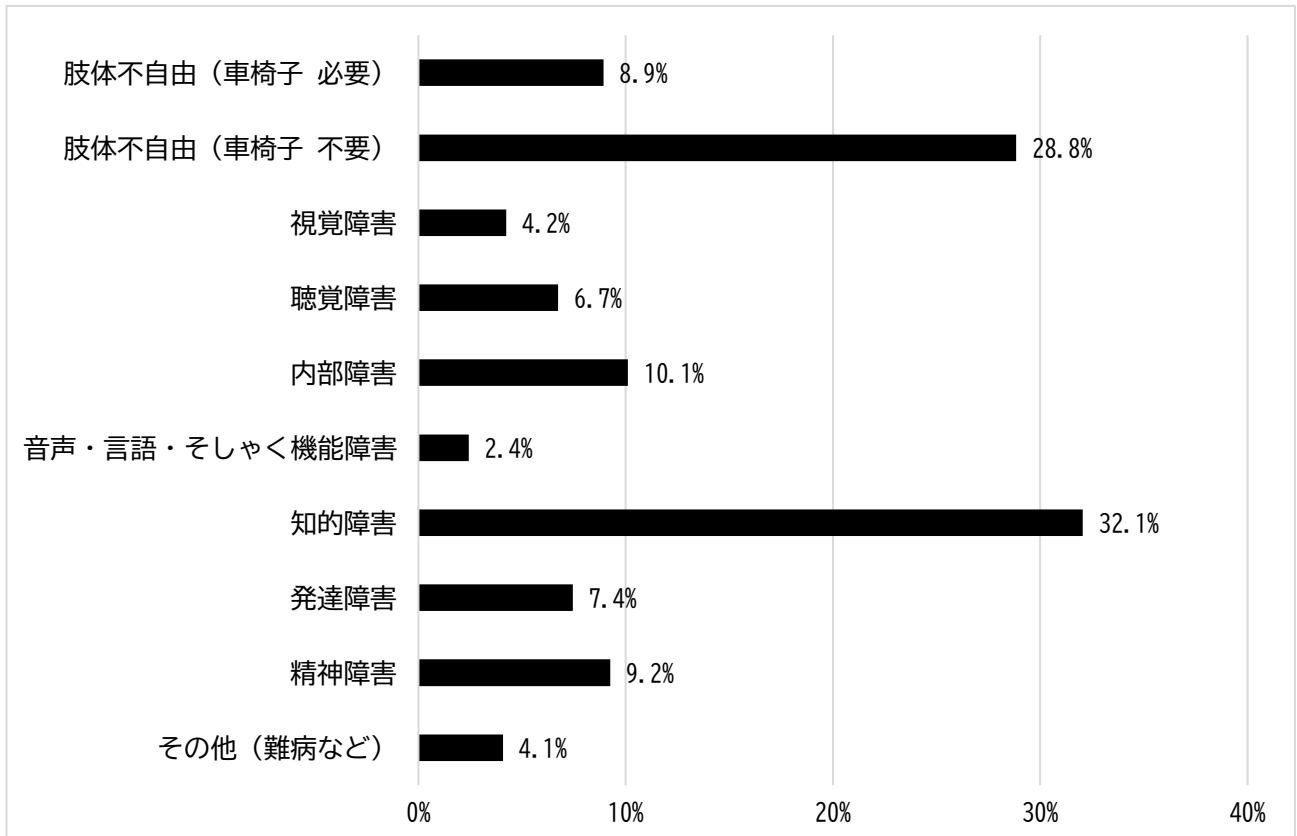
【図表3】居住地 [n=1,276]



(4) 障害の種類〔複数回答〕

障害の種類は、「知的障害」が32.1%と最も多く、次いで「肢体不自由（車椅子 必要）」（28.8%）、「内部障害」（10.1%）となっている。【図表 4】

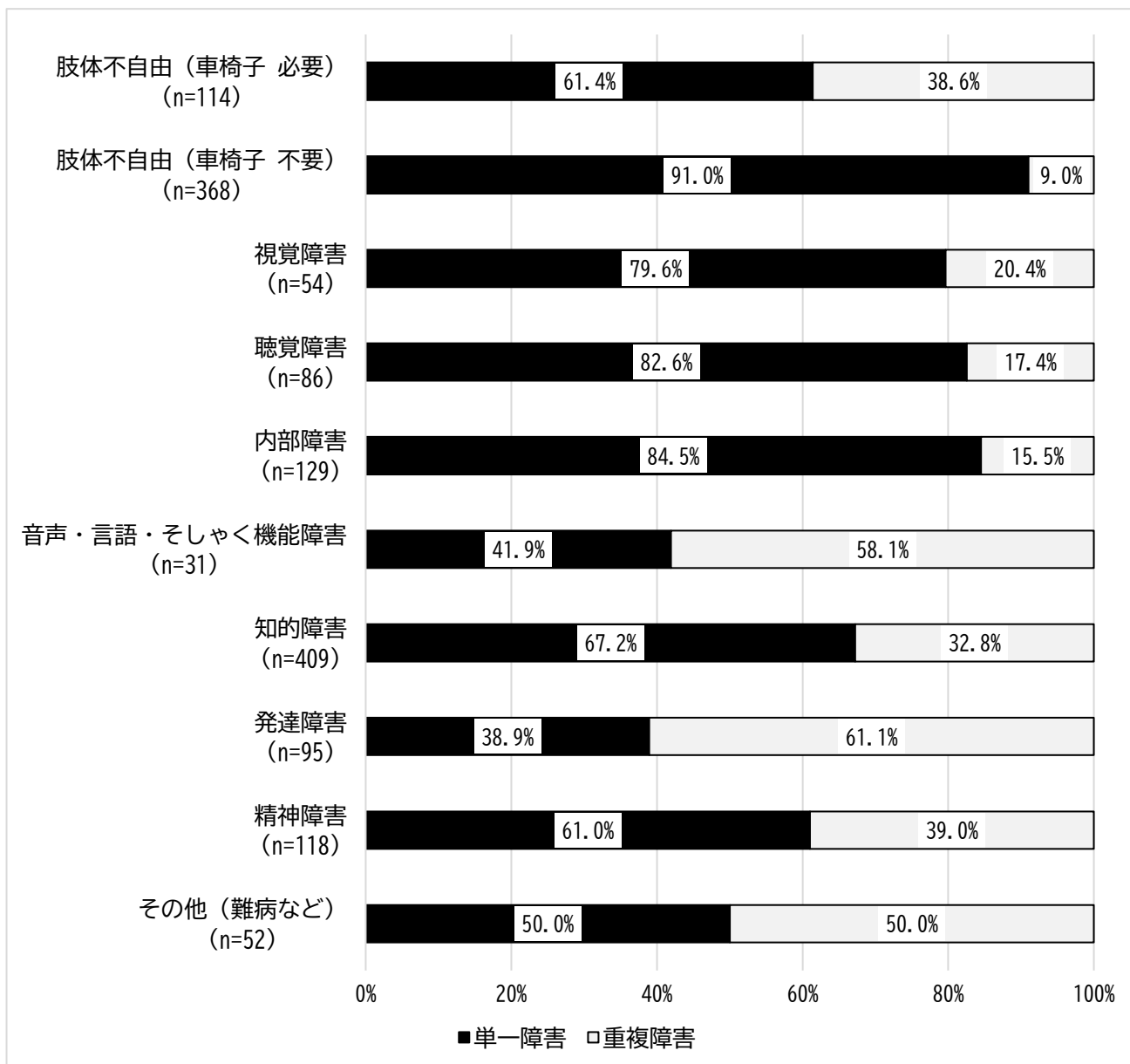
【図表 4】 障害の種類 [n=1,276]



※車椅子必要／不要とは、日常生活で車椅子を必要とする／必要としないこと。（以下同じ）

単一障害と重複障害の比率を障害種別にみると、「発達障害」が最も重複障害の割合が高く（61.1%）、次いで音声・言語・そしゃく機能障害（58.1%）、精神障害（39.0%）となっている。【図表 5】

【図表 5】単一障害・重複障害の比率（障害種別）

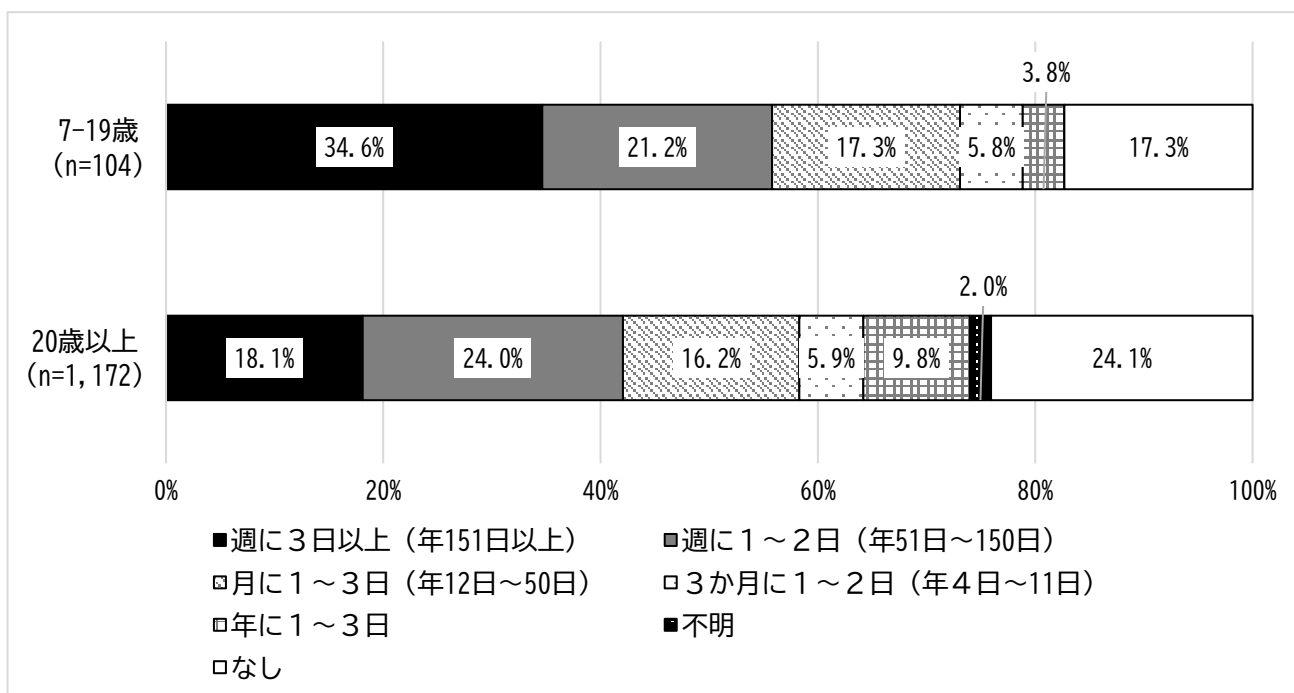


2 スポーツ・レクリエーションの実施状況

(1) 過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数

過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数について、「20歳以上」では「週に3日以上」が18.1%、「週に1～2日」が24.0%であり、週1日以上の実施者は42.1%であった。また、「7-19歳」の週1日以上の実施者は55.8%であった。【図表6】

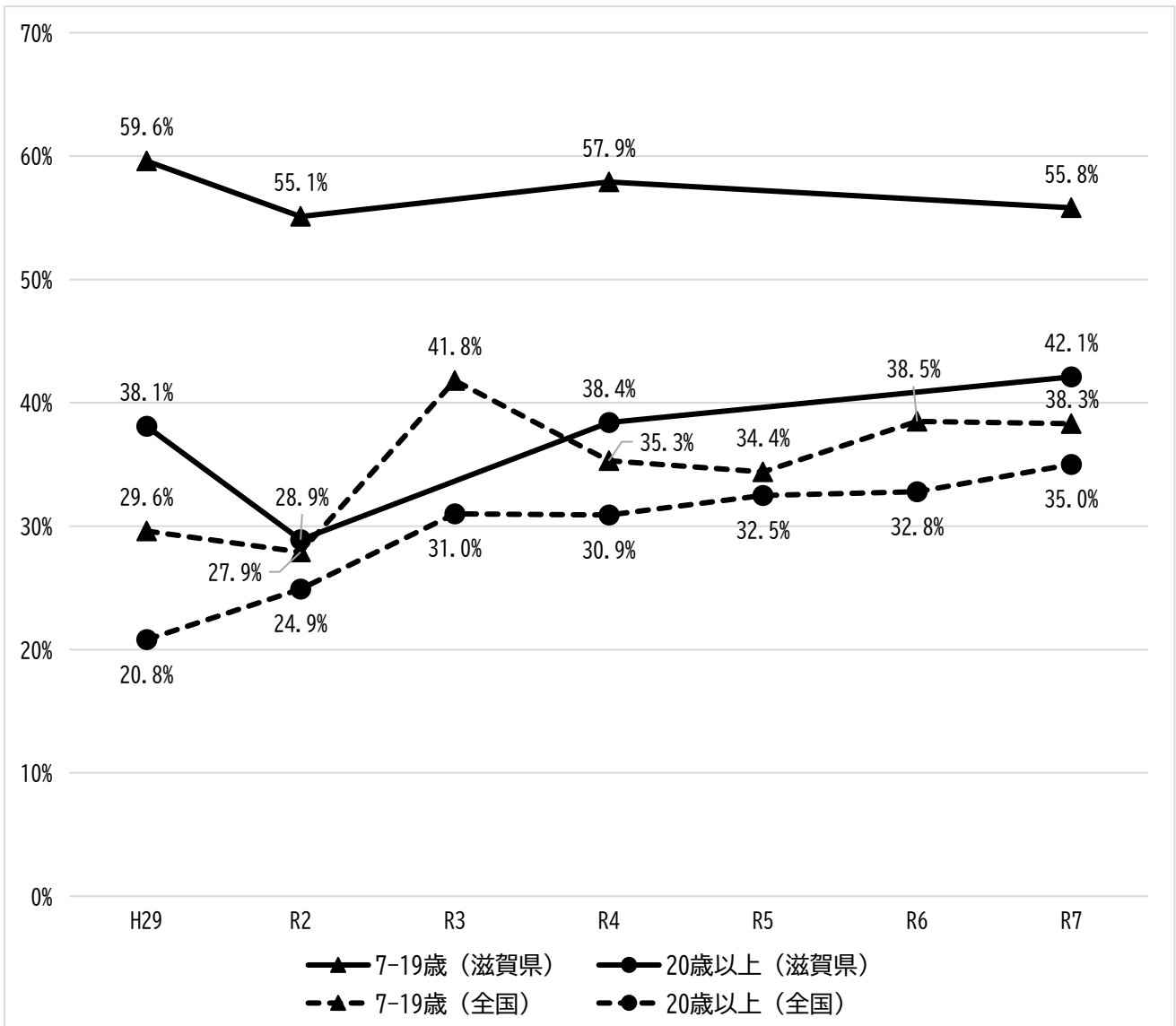
【図表6】 過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数（7-19歳・20歳以上別）



令和4年度と比較すると、週1日以上の実施率は「7-19歳」では57.9%から55.8%で2.1ポイント低くなり、「20歳以上」では38.4%から42.1%と3.7ポイント高くなった。

スポーツ庁が全国の障害児・者を対象に実施している「障害児・者のスポーツライフに関する調査研究」では、「7-19歳」の週1日以上行った人は38.3%、「20歳以上」は35.0%であり、いずれも全国の実施率より滋賀県の実施率の方が高くなっている。【図表7】

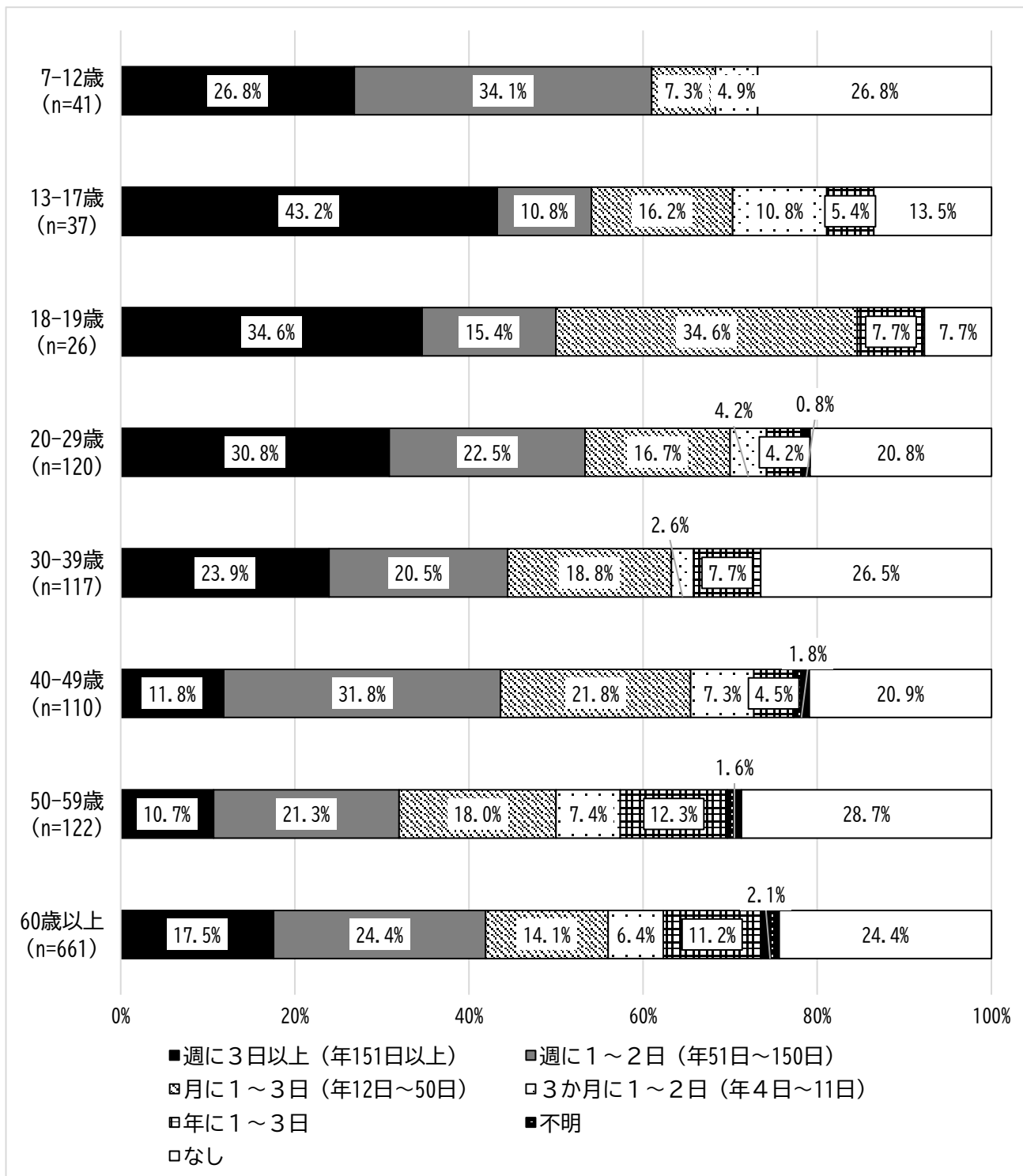
【図表7】 滋賀県と全国の週1日以上の実施率の推移



出典：「障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究」（スポーツ庁：平成29年度～令和3年度）、「障害児・者のスポーツライフに関する調査研究」（スポーツ庁：令和4年度～7年度）

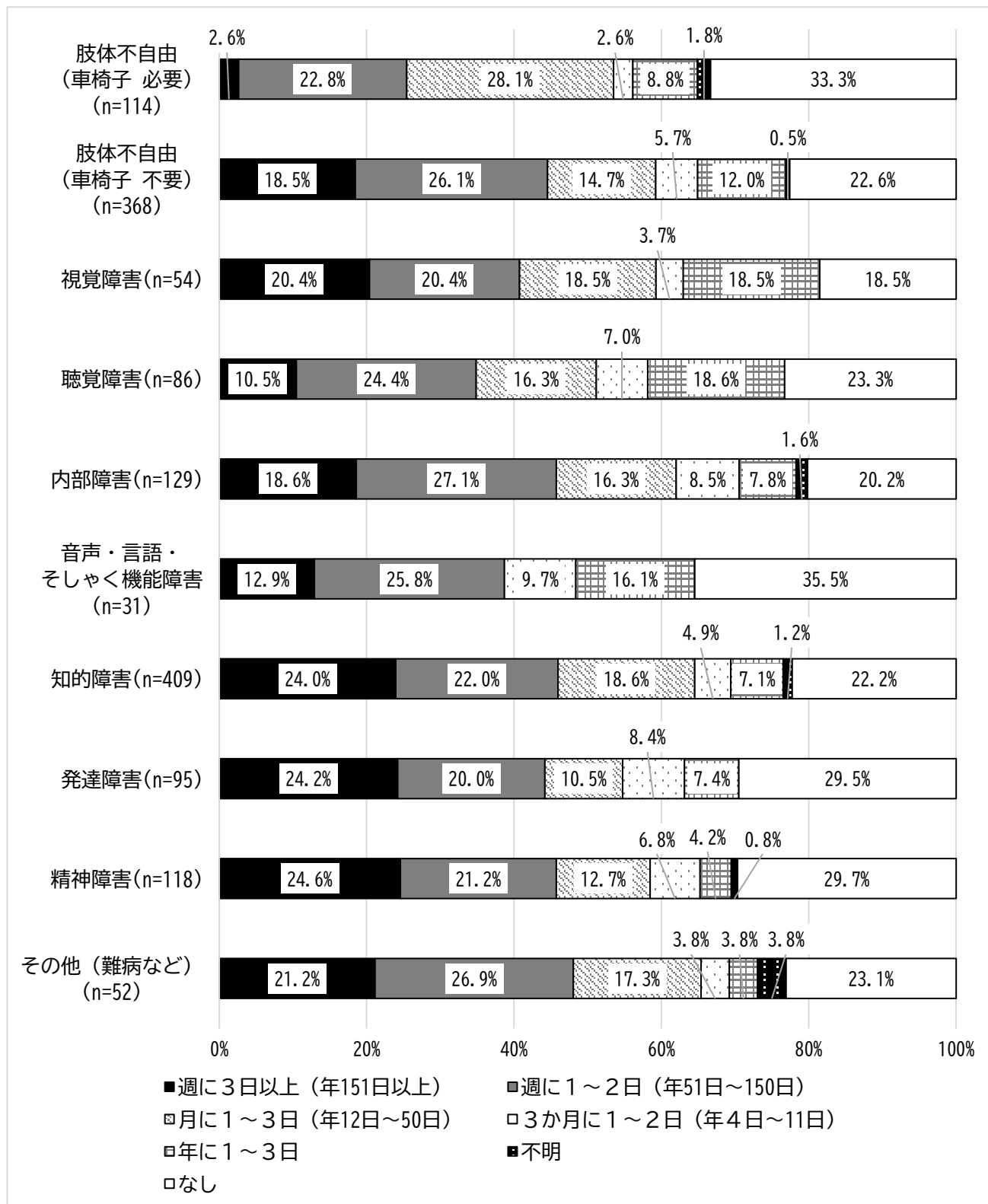
年齢別にみると、週1日以上実施している割合が「7-12歳」が60.9%で最も高く、次いで「13-17歳」(54.0%)、「20-29歳」(53.3%)となった。【図表8】

【図表8】 過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数（年齢別）



障害種別によると、週1日以上実施している割合が「その他（難病など）」が48.1%で最も高く、次いで「知的障害」（46.0%）、「精神障害」（45.8%）となった。【図表9】

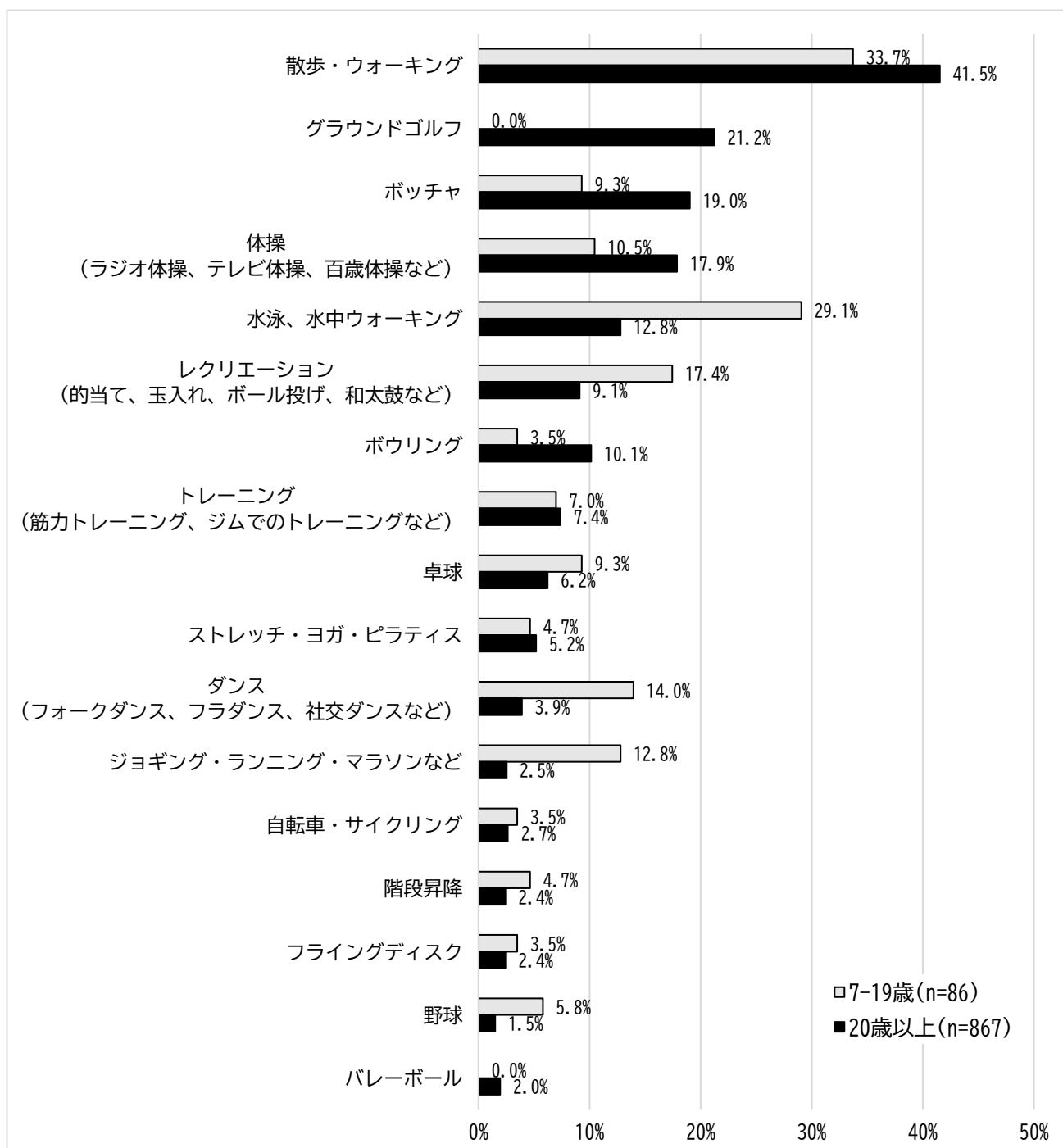
【図表9】 過去1年間にスポーツ・レクリエーションを行った日数（障害種別）



(2) 過去1年間に行ったスポーツ・レクリエーション〔最大3つまで自由回答〕

過去1年間にスポーツ・レクリエーションを「行った」と回答した人が、どのようなスポーツ・レクリエーションを行ったかについてみると、「20歳以上」では「散歩・ウォーキング」(41.5%)、「グラウンドゴルフ」(21.5%)、「ボッチャ」(19.0%)に対し、「7-19歳」では「散歩・ウォーキング」(33.7%)、「水泳、水中ウォーキング」(29.1%)、「レクリエーション(的当て、玉入れ、ボール投げ、和太鼓など)」(17.4%)の割合が高かった。【図表10】

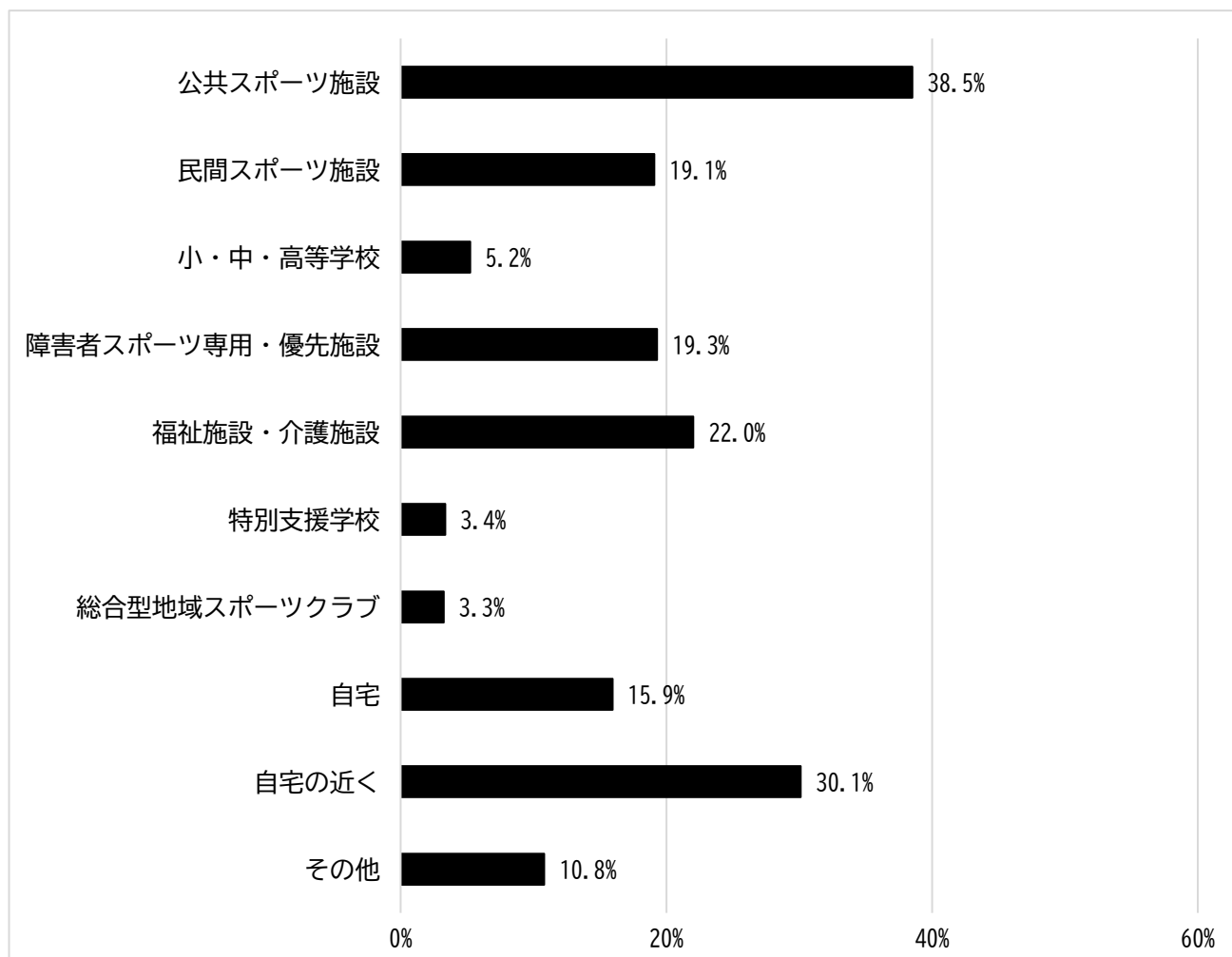
【図表10】過去1年間に行ったスポーツ・レクリエーション(回答が多かったもの)〈実施者、7-19歳・20歳以上別〉



(3) スポーツ・レクリエーションを行う場所〔複数回答〕

スポーツ・レクリエーションを行う場所は、「公共スポーツ施設」(38.5%)が最も高く、次いで「自宅の近く」(30.1%)、「福祉施設・介護施設」(22.0%)となった。【図表 11】

【図表 11】 スポーツ・レクリエーションを行う場所〈実施者〉 [n=953]



年齢別にみると、「7-12歳」では「小・中・高等学校」、「13-17歳」では「特別支援学校」の割合が最も高かった。【図表12】

【図表12】スポーツ・レクリエーションを行う場所（年齢別）〈実施者〉[n=953]

(単位：%)

	公共スポーツ施設	民間スポーツ施設	小・中・高等学校	障害者スポーツ専用・優先施設	福祉施設・介護施設	特別支援学校	総合型地域スポーツクラブ	自宅	自宅の近く	その他
7-12歳(n=30)	33.3	23.3	63.3	26.7	23.3	16.7	0.0	16.7	36.7	3.3
13-17歳(n=32)	31.3	6.3	40.6	21.9	6.3	43.8	6.3	18.8	28.1	15.6
18-19歳(n=24)	50.0	20.8	12.5	20.8	29.2	20.8	4.2	4.2	25.0	25.0
20-29歳(n=94)	36.2	19.1	3.2	21.3	45.7	2.1	3.2	14.9	31.9	21.3
30-39歳(n=86)	26.7	25.6	1.2	18.6	36.0	0.0	3.5	18.6	24.4	10.5
40-49歳(n=85)	30.6	14.1	0.0	17.6	32.9	1.2	3.5	8.2	36.5	10.6
50-59歳(n=85)	38.8	11.8	2.4	17.6	25.9	0.0	1.2	15.3	27.1	5.9
60歳以上(n=486)	41.8	19.3	1.9	19.3	13.4	0.8	3.5	17.1	29.6	9.7

※網掛けはそれぞれの種別で最も高い割合の箇所（以下同じ）

障害種別によると、「視覚障害」と「精神障害」において「自宅の近く」の割合が最も高かった。【図表13】

【図表 13】 スポーツ・レクリエーションを行う場所（障害種別）〈実施者〉 [n=953]

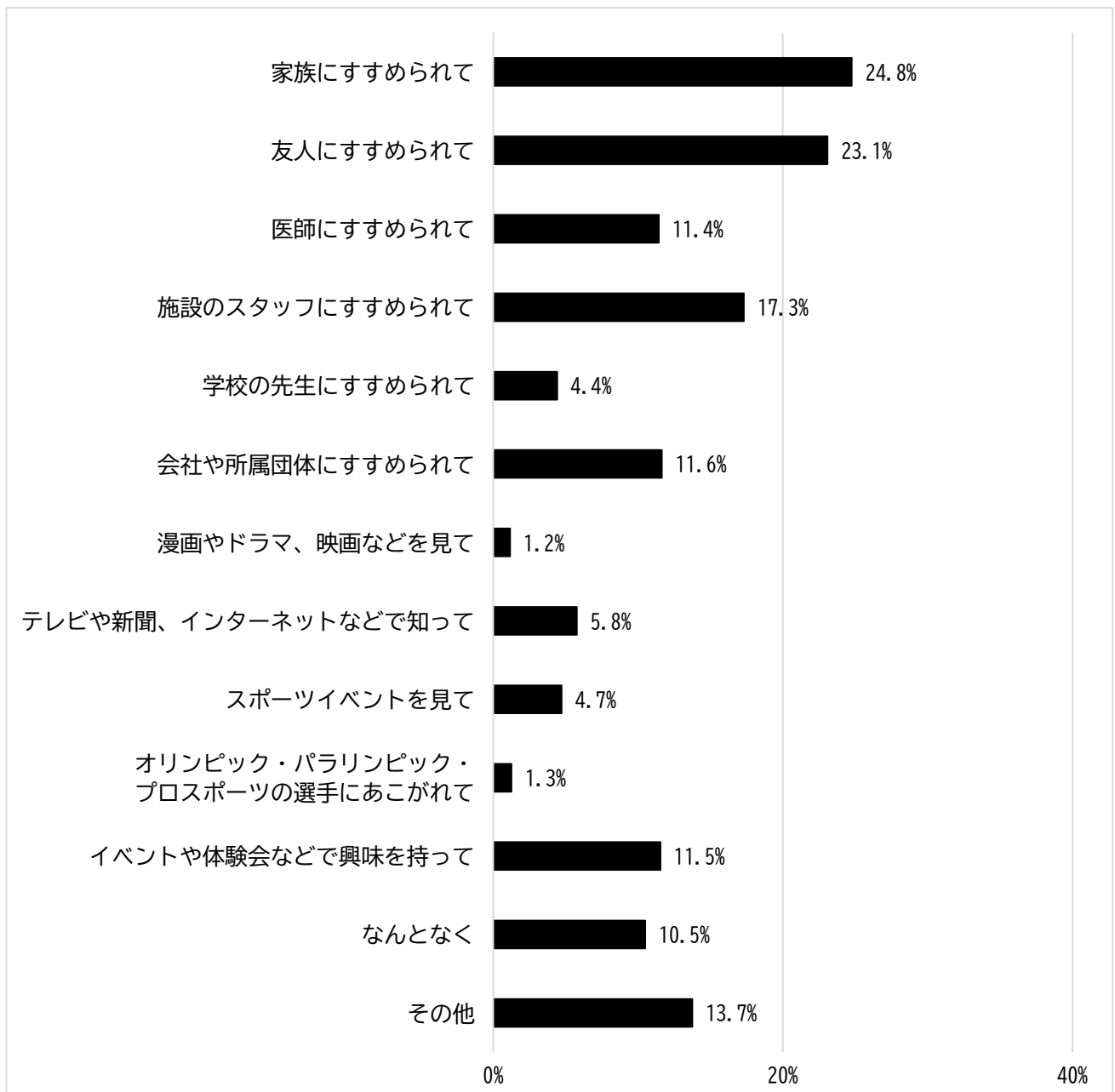
(単位：%)

	公共スポーツ施設	民間スポーツ施設	小・中・高等学校	障害者スポーツ専用・優先施設	福祉施設・介護施設	特別支援学校	総合型地域スポーツクラブ	自宅	自宅の近く	その他
肢体不自由（車椅子 必要）(n=74)	37.8	9.5	4.1	32.4	41.9	1.4	1.4	17.6	9.5	6.8
肢体不自由（車椅子 不要）(n=283)	48.4	23.0	1.8	20.8	13.4	0.0	3.5	14.5	28.3	7.8
視覚障害(n=44)	27.3	9.1	0.0	20.5	20.5	9.1	0.0	34.1	36.4	6.8
聴覚障害(n=66)	27.3	13.6	1.5	24.2	9.1	3.0	3.0	13.6	22.7	18.2
内部障害(n=101)	45.5	27.7	1.0	12.9	12.9	0.0	5.0	13.9	37.6	9.9
音声・言語・そしゃく機能障害(n=20)	40.0	15.0	5.0	10.0	10.0	5.0	0.0	15.0	30.0	10.0
知的障害(n=313)	31.3	18.2	7.0	18.5	38.3	8.3	2.2	14.7	30.7	13.7
発達障害(n=67)	29.9	28.4	31.3	14.9	19.4	11.9	4.5	11.9	29.9	6.0
精神障害(n=82)	26.8	7.3	6.1	12.2	20.7	2.4	2.4	19.5	32.9	13.4
その他（難病など）(n=38)	36.8	13.2	5.3	21.1	44.7	0.0	7.9	21.1	23.7	18.4

(4) スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ〔複数回答〕

スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけは、「家族にすすめられて」(24.8%)が最も高く、次いで「友人にすすめられて」(23.1%)、「施設のスタッフにすすめられて」(17.3%)となった。【図表 14】

【図表 14】 スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ〈実施者〉 [n=953]



年齢別にみると、「30-39歳」までは「家族にすすめられて」が4割を超えた。また、「20-29歳」以降年齢とともに「医師にすすめられて」の割合が増加した。【図表15】

【図表15】スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ（年齢別）〈実施者〉[n=953]

(単位：%)

	家族にすすめられて	友人にすすめられて	医師にすすめられて	施設のスタッフにすすめられて	学校の先生にすすめられて	会社や所属団体にすすめられて	漫画やドラマ、映画などを見て	テレビや新聞、インターネットなどで知って	スポーツイベントを見て	オリンピック・パラリンピック・プロスポーツの選手にあこがれて	イベントや体験会などで興味を持って	なんとなく	その他
7-12歳 (n=30)	53.3	16.7	3.3	16.7	26.7	0.0	0.0	0.0	3.3	6.7	16.7	13.3	13.3
13-17歳 (n=32)	40.6	12.5	6.3	9.4	43.8	3.1	3.1	6.3	0.0	0.0	15.6	21.9	9.4
18-19歳 (n=24)	50.0	4.2	0.0	16.7	25.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	12.5	25.0
20-29歳 (n=94)	44.7	13.8	2.1	26.6	5.3	6.4	3.2	5.3	3.2	3.2	2.1	12.8	10.6
30-39歳 (n=86)	41.9	12.8	4.7	40.7	3.5	7.0	4.7	3.5	2.3	0.0	8.1	5.8	10.5
40-49歳 (n=85)	29.4	4.7	9.4	30.6	0.0	11.8	1.2	4.7	3.5	0.0	8.2	14.1	8.2
50-59歳 (n=85)	23.5	18.8	10.6	18.8	3.5	11.8	1.2	4.7	4.7	1.2	10.6	16.5	16.5
60歳以上 (n=486)	14.6	31.1	15.6	10.1	0.4	14.6	0.2	7.2	6.0	1.2	14.2	8.2	15.6

障害種別によると、「知的障害」「発達障害」「精神障害」では「家族にすすめられて」の割合が高いが、身体障害では全体的に「友人にすすめられて」の割合が高かった。【図表 16】

【図表 16】 スポーツ・レクリエーションを始めたきっかけ（障害種別）〈実施者〉 [n=953]

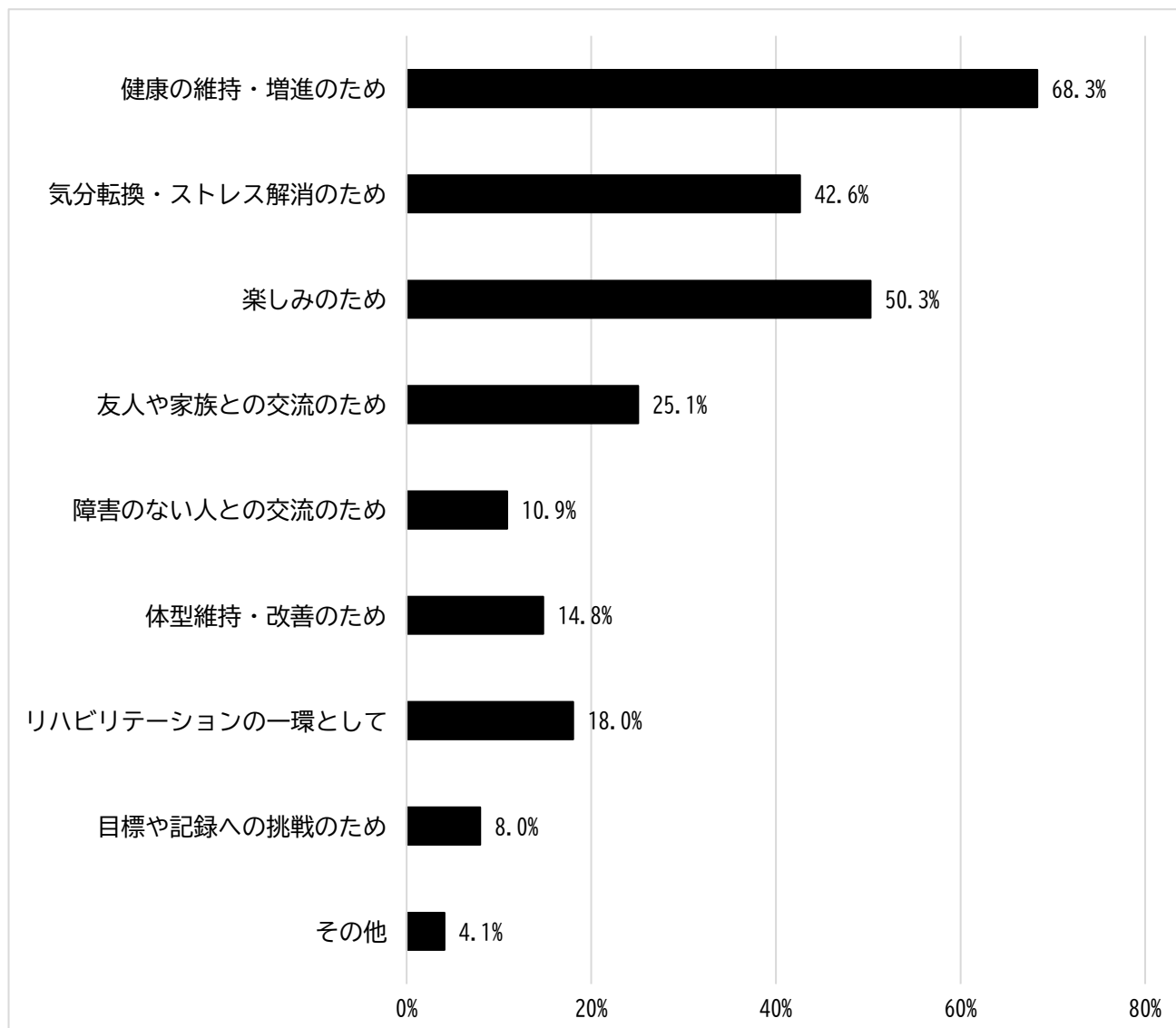
(単位：%)

	家族にすすめられて	友人にすすめられて	医師にすすめられて	施設のスタッフにすすめられて	学校の先生にすすめられて	会社や所属団体にすすめられて	漫画やドラマ、映画などを見て	テレビや新聞、インターネットなどで知って	スポーツイベントを見て	オリンピック・パラリンピック・プロスポーツの選手にあこがれて	イベントや体験会などで興味を持って	なんとなく	その他
肢体不自由 (車椅子 必要) (n=74)	18.9	17.6	8.1	35.1	0.0	12.2	1.4	5.4	8.1	1.4	8.1	9.5	14.9
肢体不自由 (車椅子 不要) (n=283)	13.8	32.2	15.9	10.6	0.7	17.0	0.7	7.1	6.4	1.4	15.9	7.8	13.8
視覚障害 (n=44)	18.2	20.5	6.8	6.8	6.8	11.4	0.0	4.5	2.3	4.5	9.1	15.9	15.9
聴覚障害 (n=66)	16.7	27.3	10.6	3.0	6.1	10.6	0.0	7.6	4.5	0.0	12.1	15.2	16.7
内部障害 (n=101)	14.9	36.6	12.9	8.9	3.0	12.9	0.0	5.0	7.9	1.0	9.9	9.9	17.8
音声・言語・ そしゃく機能障 害(n=20)	10.0	20.0	20.0	15.0	5.0	20.0	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0	30.0
知的障害 (n=313)	44.4	9.6	4.5	30.4	8.9	8.6	1.6	3.2	1.9	1.3	7.3	9.9	8.3
発達障害 (n=67)	41.8	10.4	6.0	17.9	19.4	4.5	3.0	4.5	3.0	0.0	11.9	19.4	9.0
精神障害 (n=82)	22.0	12.2	14.6	24.4	4.9	4.9	1.2	4.9	4.9	2.4	14.6	12.2	18.3
その他(難病な ど)(n=38)	23.7	31.6	23.7	21.1	5.3	10.5	2.6	5.3	2.6	2.6	18.4	13.2	15.8

(5) スポーツ・レクリエーションを行う目的〔複数回答〕

スポーツ・レクリエーションを行う目的は、「健康の維持・増進のため」(68.3%)が最も高く、次いで「楽しみのため」(50.3%)、「気分転換・ストレス解消のため」(42.6%)となった。【図表 17】

【図表 17】 スポーツ・レクリエーションを行う目的〈実施者〉 [n=953]



年齢別にみると、若年層では「楽しみのため」の割合が比較的高かった。【図表 18】

【図表 18】 スポーツ・レクリエーションを行う目的（年齢別）〈実施者〉 [n=953]

(単位：%)

	健康の維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	障害のない人との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	戦いのため	目標や記録への挑戦のため	その他
7-12 歳(n=30)	46.7	40.0	70.0	36.7	10.0	6.7	6.7	16.7	3.3	
13-17 歳(n=32)	65.6	43.8	40.6	18.8	6.3	25.0	6.3	18.8	15.6	
18-19 歳(n=24)	50.0	33.3	50.0	25.0	4.2	20.8	0.0	16.7	16.7	
20-29 歳(n=94)	55.3	48.9	61.7	25.5	6.4	29.8	6.4	9.6	3.2	
30-39 歳(n=86)	65.1	48.8	60.5	25.6	7.0	26.7	10.5	8.1	0.0	
40-49 歳(n=85)	63.5	49.4	56.5	18.8	7.1	15.3	10.6	7.1	3.5	
50-59 歳(n=85)	62.4	42.4	44.7	23.5	10.6	16.5	15.3	7.1	5.9	
60 歳以上(n=486)	74.7	39.1	45.5	26.1	13.8	9.5	24.5	6.6	3.5	

障害種別にみても、ほとんどの障害種別で「健康の維持・増進のため」が最も高かった。【図表 19】

【図表 19】 スポーツ・レクリエーションを行う目的（障害種別）〈実施者〉 [n=953]

(単位：%)

	健康の維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	障害のない人との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	戦いのため	目標や記録への挑戦のため	その他
肢体不自由（車椅子 必要）(n=74)	54.1	40.5	60.8	20.3	10.8	17.6	36.5	9.5	2.7	
肢体不自由（車椅子 不要）(n=283)	77.4	39.9	47.0	25.4	15.2	11.3	32.5	8.8	2.8	
視覚障害(n=44)	65.9	29.5	40.9	29.5	11.4	13.6	15.9	13.6	9.1	
聴覚障害(n=66)	65.2	43.9	43.9	19.7	12.1	4.5	12.1	6.1	6.1	
内部障害(n=101)	77.2	46.5	51.5	29.7	10.9	9.9	11.9	5.9	1.0	
音声・言語・そしゃく機能障害(n=20)	60.0	25.0	45.0	30.0	15.0	0.0	30.0	0.0	0.0	
知的障害(n=313)	59.7	42.8	58.5	24.3	7.7	20.8	5.4	7.7	2.9	
発達障害(n=67)	52.2	38.8	50.7	17.9	4.5	13.4	4.5	10.4	7.5	
精神障害(n=82)	63.4	47.6	40.2	11.0	4.9	18.3	19.5	8.5	9.8	
その他（難病など）(n=38)	71.1	44.7	55.3	36.8	13.2	13.2	44.7	10.5	7.9	

(6) スポーツ・レクリエーションに取り組む際の課題〔複数回答〕

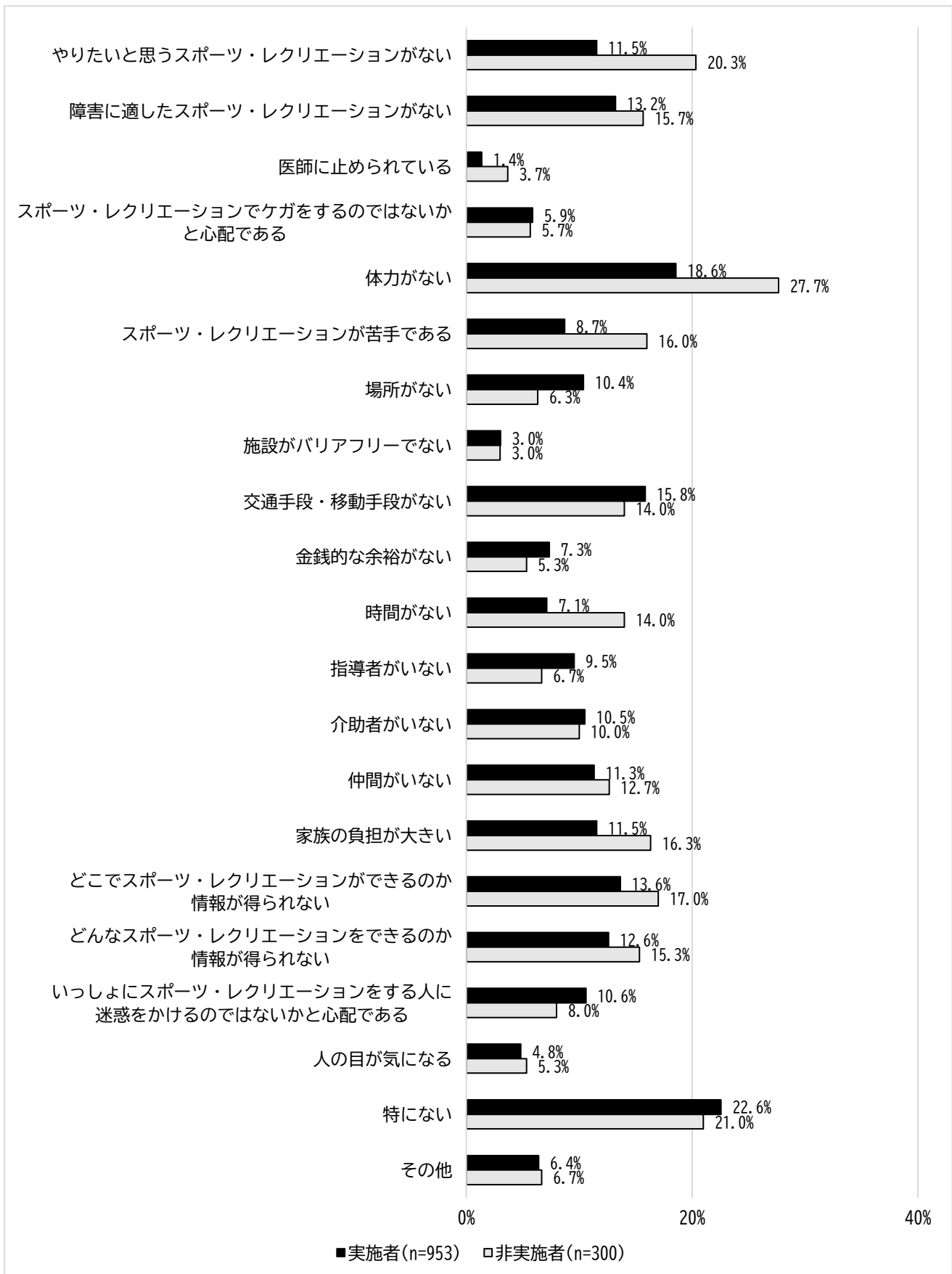
スポーツ・レクリエーションに取り組む際の課題は、実施者（過去1年間で1日以上スポーツ・レクリエーションを行った人）については、「特になし」（22.6%）が最も高く、次いで「体力がない」（18.6%）、「交通手段・移動手段がない」（15.8%）となった。

一方、非実施者（過去1年間で一度もスポーツ・レクリエーションを行わなかった人）については、「体力がない」（27.7%）が最も高く、次いで「特になし」（21.0%）、「やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない」（20.3%）となった。【図表 20】

年齢別にみると、高年層では「体力がない」の割合が高かった。また、若年層において「どこでスポーツ・レクリエーションができるのか情報が得られない」「どんなスポーツ・レクリエーションをできるのか情報が得られない」の割合が比較的高かった。【図表 21】

障害種別にみると、「肢体不自由（車椅子 必要）」は「介助者がいない」（29.8%）が最も高く、「視覚障害」は「交通手段・移動手段がない」（33.3%）が最も高かった。【図表 22】

【図表 20】 スポーツ・レクリエーションに取り組む際の課題（実施有無別）



【図表 21】 スポーツ・レクリエーションに取り組む際の課題（年齢別） [n=1,276]

(単位：%)

	やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	障害に適したスポーツ・レクリエーションがない	医師に止められている	スポーツ・レクリエーションでケガをするのではないかと心配である	体力がない	スポーツ・レクリエーションが苦手である	場所がない	施設がバリアフリーでない	交通手段・移動手段がない	金銭的な余裕がない	時間がない
7-12 歳(n=41)	19.5	31.7	0.0	2.4	9.8	36.6	14.6	4.9	2.4	2.4	12.2
13-17 歳(n=37)	35.1	24.3	2.7	10.8	10.8	16.2	21.6	5.4	13.5	2.7	10.8
18-19 歳(n=26)	19.2	11.5	0.0	7.7	26.9	11.5	19.2	0.0	23.1	11.5	15.4
20-29 歳(n=120)	24.2	15.0	0.8	4.2	14.2	10.8	7.5	4.2	15.8	8.3	8.3
30-39 歳(n=117)	17.1	23.9	1.7	0.9	8.5	12.8	7.7	1.7	12.0	7.7	9.4
40-49 歳(n=110)	18.2	19.1	0.9	3.6	12.7	20.9	9.1	6.4	18.2	11.8	10.9
50-59 歳(n=122)	16.4	13.1	2.5	9.0	24.6	13.1	13.1	2.5	10.7	13.9	13.1
60 歳以上(n=661)	8.2	8.9	2.4	6.1	26.2	5.6	8.3	2.4	16.6	4.8	7.1

	指導者がいない	介助者がいない	仲間がない	家族の負担が大きい	どこでスポーツ・レクリエーションができるのか情報が得られない	どんなスポーツ・レクリエーションをできるのか情報が得られない	いつしよにスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である	人の目が気になる	特にな	その他
7-12 歳	17.1	14.6	14.6	24.4	26.8	29.3	36.6	12.2	22.0	7.3
13-17 歳	21.6	16.2	18.9	24.3	32.4	32.4	27.0	10.8	16.2	8.1
18-19 歳	19.2	23.1	23.1	26.9	38.5	30.8	7.7	7.7	19.2	3.8
20-29 歳	13.3	17.5	18.3	19.2	24.2	20.0	15.0	10.0	20.8	11.7
30-39 歳	12.8	25.6	11.1	24.8	18.8	16.2	13.7	6.8	14.5	6.8
40-49 歳	10.9	14.5	18.2	25.5	16.4	16.4	8.2	5.5	19.1	3.6
50-59 歳	10.7	13.1	18.0	9.8	15.6	14.8	11.5	7.4	21.3	5.7
60 歳以上	5.0	3.6	7.0	5.6	8.5	8.2	5.3	2.4	24.4	5.4

【図表 22】 スポーツ・レクリエーションに取り組む際の課題（障害種別） [n=1,276]

(単位：%)

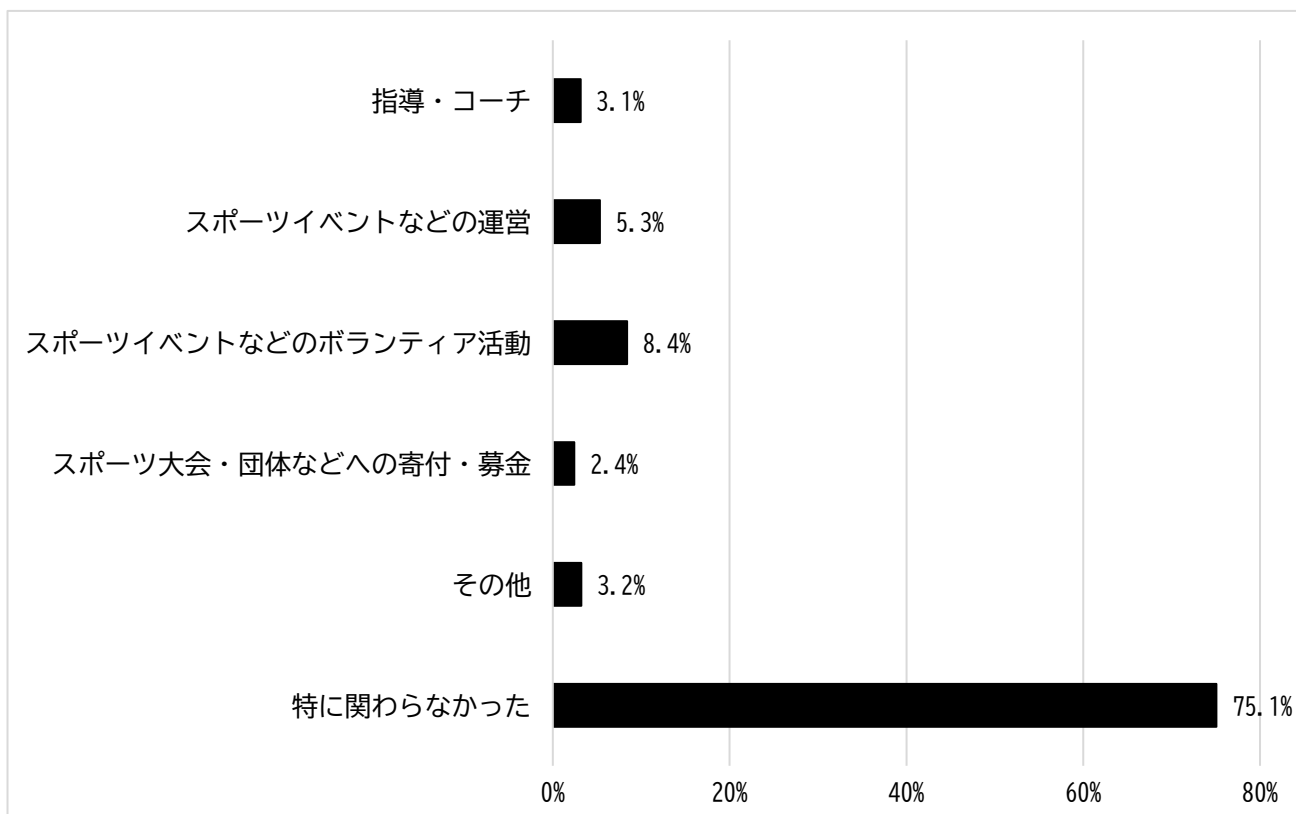
	やりた いと思 うスポ ーツ・ レクリ エーシ ョンが ない	障害 に適 した スポ ーツ・ レクリ エーシ ョンが ない	医 師に 止め られ てい る	スポ ーツ・ レクリ エーシ ョンで ケガ する ので は ない かと 心配 であ る	体 力 が な い	スポ ーツ・ レクリ エーシ ョン が 苦 手 で あ る	場 所 が な い	施 設 が バ リ ア フ リ ー で な い	交 通 手 段 ・ 移 動 手 段 が な い	金 銭 的 な 余 裕 が な い	時 間 が な い
肢体不自由（車椅子 必要） (n=114)	10.5	23.7	1.8	5.3	14.9	2.6	7.9	13.2	16.7	1.8	5.3
肢体不自由（車椅子 不要） (n=368)	7.9	10.6	1.6	8.7	26.1	7.1	6.0	1.9	14.4	5.7	9.2
視覚障害(n=54)	9.3	18.5	1.9	7.4	18.5	13.0	11.1	5.6	33.3	5.6	1.9
聴覚障害(n=86)	26.7	10.5	2.3	9.3	25.6	8.1	10.5	2.3	20.9	7.0	11.6
内部障害(n=129)	9.3	12.4	6.2	2.3	25.6	7.0	7.0	2.3	11.6	4.7	7.8
音声・言語・そしゃく機能 障害(n=31)	9.7	19.4	0.0	6.5	32.3	6.5	16.1	3.2	9.7	6.5	0.0
知的障害(n=409)	19.3	20.8	1.5	4.4	11.7	16.1	9.0	2.4	15.6	6.1	7.3
発達障害(n=95)	27.4	20.0	0.0	1.1	14.7	25.3	11.6	0.0	8.4	7.4	13.7
精神障害(n=118)	18.6	6.8	0.0	4.2	30.5	13.6	16.9	2.5	11.9	21.2	10.2
その他（難病など）(n=52)	17.3	5.8	1.9	0.0	23.1	5.8	17.3	7.7	21.2	9.6	1.9

	指 導 者 が い な い	介 助 者 が い な い	仲 間 が い な い	家 族 の 負 担 が 大 き い	ど こ で ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョン が で き る の か 情 報 が 得 ら れ な い	ど ん な ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョン を で き る の か 情 報 が 得 ら れ な い	い つ し よ に ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョン を す る 人 に 迷 惑 を か け る の は な い か と 心 配 で あ る	人 の 目 が 気 に な る	特 に な い	そ の 他
肢体不自由（車椅子 必要）	12.3	29.8	7.0	25.4	12.3	13.2	13.2	0.9	15.8	7.9
肢体不自由（車椅子 不要）	5.2	1.6	6.5	4.9	6.3	7.1	4.9	1.9	25.0	5.4
視覚障害	9.3	14.8	5.6	16.7	9.3	9.3	16.7	1.9	20.4	5.6
聴覚障害	4.7	7.0	18.6	4.7	18.6	16.3	4.7	2.3	22.1	7.0
内部障害	6.2	4.7	10.9	7.8	10.9	8.5	9.3	2.3	28.7	5.4
音声・言語・そしゃく機能障害	9.7	19.4	6.5	3.2	19.4	25.8	12.9	0.0	22.6	3.2
知的障害	14.2	22.2	15.4	23.0	20.5	18.3	14.4	6.8	18.3	6.4
発達障害	18.9	12.6	20.0	17.9	27.4	28.4	21.1	13.7	18.9	7.4
精神障害	9.3	9.3	22.0	7.6	22.9	19.5	9.3	13.6	20.3	5.9
その他（難病など）	7.7	13.5	11.5	25.0	17.3	15.4	13.5	7.7	25.0	5.8

(7) 過去1年間の「自身がスポーツ・レクリエーションをする」以外のスポーツ・レクリエーションとの関わり〔複数回答〕

過去1年間の「自身がスポーツ・レクリエーションをする」以外の関わりは、「特に関わらなかった」(75.1%)が最も高く、次いで「スポーツイベントなどのボランティア活動」(8.4%)、「スポーツイベントなどの運営」(5.3%)となった。【図表 23】

【図表 23】 過去1年間の「自身がスポーツ・レクリエーションをする」以外のスポーツ・レクリエーションとの関わり [n=1,276]



年齢別にみると、「30-39歳」が「特に関わらなかった」の割合が最も高かったが、それ以降年齢が高くなるにつれ、「スポーツなどのボランティア活動」の割合が高くなる傾向にある。【図表 24】

【図表 24】 過去1年間の「自身がスポーツ・レクリエーションをする」以外のスポーツ・レクリエーションへの関わり（年齢別） [n=1,276]

(単位：%)

	指導 ・コーチ	スポーツ イベント などの運 営	スポーツ イベント などのボ ランティア 活動	スポーツ 大会・団体 などへの 寄付・募金	その他	特に関わ らなかつ た
7-12歳(n=41)	2.4	2.4	0.0	0.0	4.9	90.2
13-17歳(n=37)	2.7	0.0	2.7	0.0	2.7	89.2
18-19歳(n=26)	3.8	0.0	3.8	0.0	11.5	84.6
20-29歳(n=120)	7.5	4.2	8.3	0.0	4.2	78.3
30-39歳(n=117)	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0	94.9
40-49歳(n=110)	0.9	1.8	5.5	2.7	1.8	87.3
50-59歳(n=122)	3.3	6.6	9.8	2.5	5.7	75.4
60歳以上(n=661)	3.2	7.7	10.7	3.3	3.2	66.7

障害種別にみると、「特に関わらなかった」の割合が「発達障害」で最も高かった。【図表 25】

【図表 25】 過去1年間の「自身がスポーツ・レクリエーションをする」以外のスポーツ・レクリエーションへの関わり（障害種別） [n=1,276]

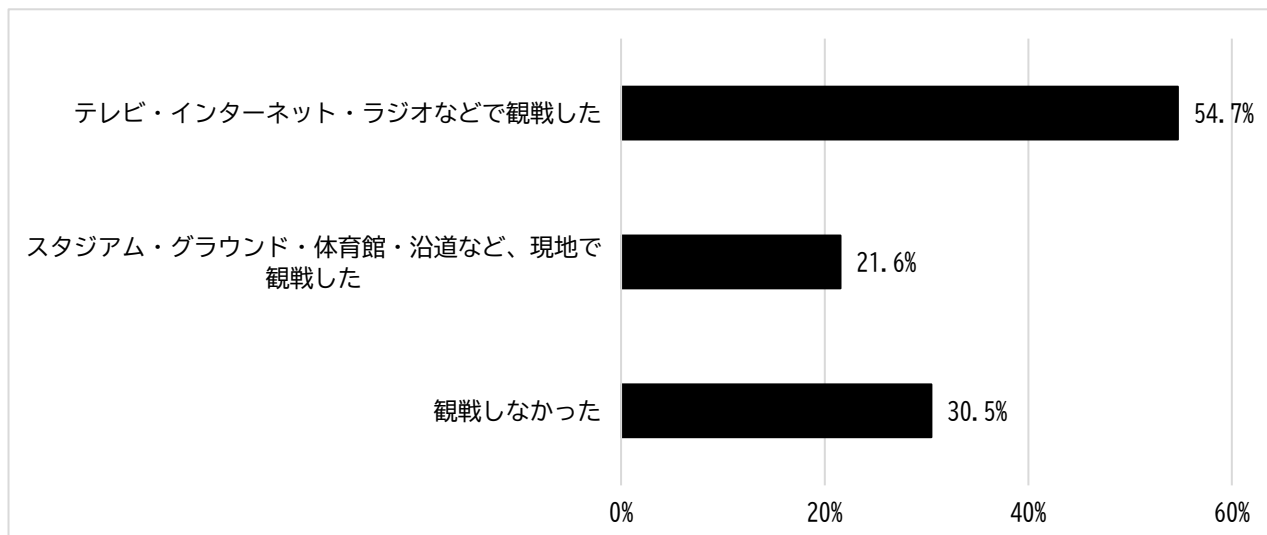
(単位：%)

	指導 ・コーチ	スポーツ イベント などの運 営	スポーツ イベント などのボ ランティア 活動	スポーツ 大会・団体 などへの 寄付・募金	その他	特に関わ らなかつ た
肢体不自由（車椅子 必要）(n=114)	7.0	7.9	6.1	4.4	2.6	77.2
肢体不自由（車椅子 不要）(n=368)	4.1	7.3	12.2	3.3	4.3	68.2
視覚障害(n=54)	3.7	9.3	7.4	5.6	1.9	74.1
聴覚障害(n=86)	3.5	8.1	17.4	0.0	2.3	62.8
内部障害(n=129)	0.0	7.8	10.1	4.7	3.1	69.8
音声・言語・そしゃく機能障害(n=31)	6.5	16.1	16.1	3.2	9.7	58.1
知的障害(n=409)	2.7	1.5	5.1	1.2	2.2	85.3
発達障害(n=95)	3.2	1.1	2.1	0.0	1.1	92.6
精神障害(n=118)	0.8	0.0	2.5	2.5	6.8	83.9
その他（難病など）(n=52)	1.9	5.8	5.8	1.9	7.7	59.6

(8) 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの観戦状況【複数回答】

過去1年間のスポーツ・レクリエーションの観戦状況は、「テレビ・インターネット・ラジオなどで観戦した」が54.7%、「スタジアム・グラウンド・体育館・沿道など、現地で観戦した」が21.6%で、「観戦しなかった」は30.5%であった。【図表26】

【図表26】 過去1年間のスポーツ・レクリエーションの観戦状況 [n=1,276]



年齢別にみると、高年齢層ほど「テレビ・インターネット・ラジオなどで観戦した」割合が高くなる傾向にある。【図表 27】

【図表 27】 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションの観戦状況（年齢別） [n=1,276]

(単位：%)

	テレビ・インターネット・ラジオなどで観戦した	スタジアム・グラウンド・体育館・沿道など、現地で観戦した	観戦しなかった
7-12 歳(n=41)	39.0	39.0	41.5
13-17 歳(n=37)	40.5	40.5	37.8
18-19 歳(n=26)	38.5	11.5	50.0
20-29 歳(n=120)	50.0	21.7	43.3
30-39 歳(n=117)	35.0	10.3	58.1
40-49 歳(n=110)	50.9	14.5	39.1
50-59 歳(n=122)	45.1	31.1	30.3
60 歳以上(n=661)	63.4	21.0	20.7

障害種別にみると、「知的障害」と「発達障害」で「観戦しなかった」割合が高かった。【図表 28】

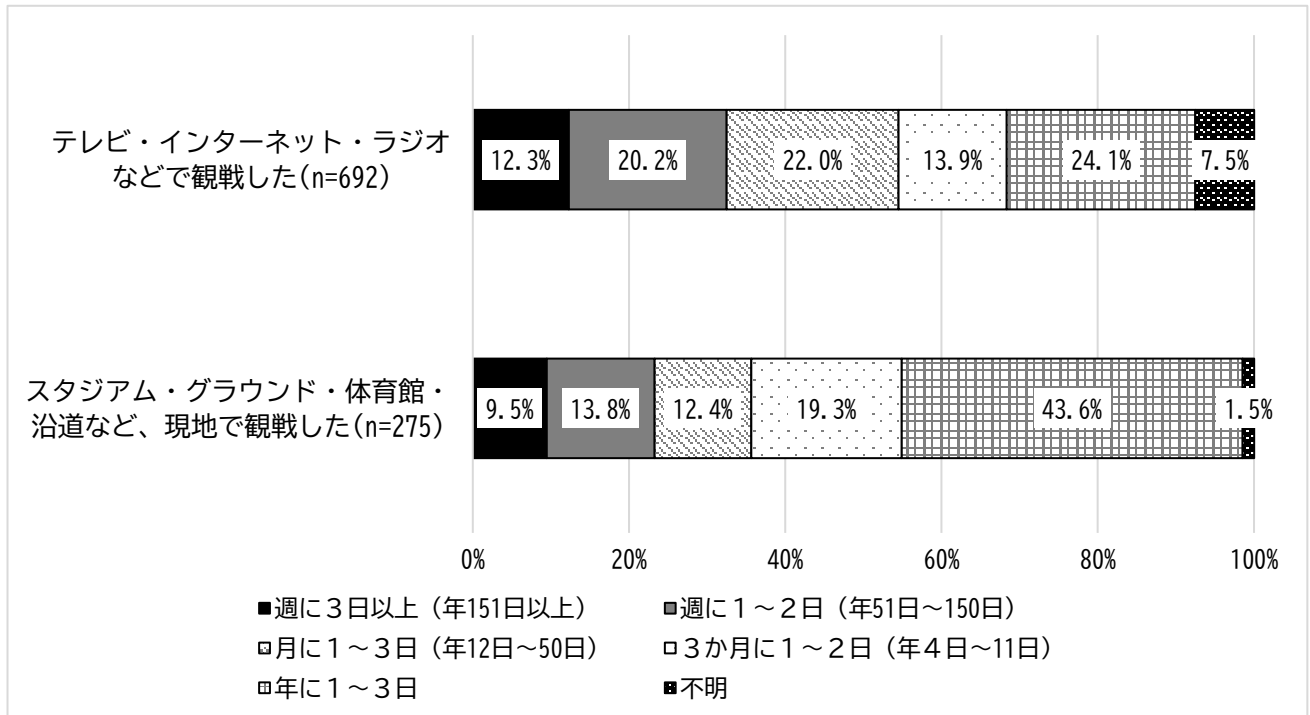
【図表 28】 過去 1 年間のスポーツ・レクリエーションの観戦状況（障害種別） [n=1,276]

(単位：%)

	テレビ・インターネット・ラジオなどで観戦した	スタジアム・グラウンド・体育館・沿道など、現地で観戦した	観戦しなかった
肢体不自由（車椅子 必要）(n=114)	55.3	19.3	32.5
肢体不自由（車椅子 不要）(n=368)	64.7	26.9	18.8
視覚障害(n=54)	48.1	35.2	33.3
聴覚障害(n=86)	54.7	25.6	25.6
内部障害(n=129)	61.2	23.3	20.9
音声・言語・そしゃく機能障害(n=31)	54.8	12.9	32.3
知的障害(n=409)	42.1	14.7	46.5
発達障害(n=95)	32.6	21.1	55.8
精神障害(n=118)	44.9	15.3	39.0
その他（難病など）(n=52)	55.8	26.9	25.0

過去1年間にスポーツ・レクリエーションを「観戦した」と回答した人が、どのくらいの頻度で観戦したかについてみると、週1日以上観戦した割合が「テレビ・インターネット・ラジオなどで観戦した」では32.5%、「スタジアム・グラウンド・体育館・沿道など、現地で観戦した」では23.3%となった。【図表 29】

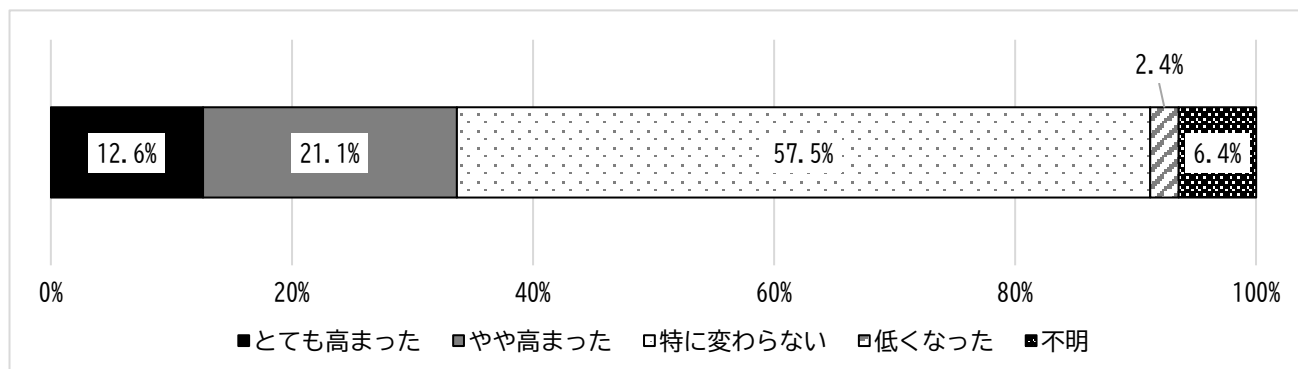
【図表 29】 過去1年間のスポーツ・レクリエーション観戦頻度〈観戦者、テレビ等・現地観戦別〉



(9) 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」後のスポーツへの興味・関心

「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」後のスポーツへの興味・関心は、「特に変わらない」(57.5%)が最も高く、「とても高まった」「やや高まった」と回答した割合は合わせて 33.7%であった。【図表 30】

【図表 30】 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」後のスポーツへの興味・関心 [n=1,276]



年齢別にみると、若年層が「とても高まった」「やや高まった」と回答した割合が比較的高い傾向にある。

【図表 31】

【図表 31】 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」後のスポーツへの興味・関心（年齢別） [n=1,276]

(単位：%)

	とても高まった	やや高まった	低くなった	特に変わらない	不明
7-12 歳(n=41)	17.1	22.0	2.4	58.5	0.0
13-17 歳(n=37)	21.6	18.9	0.0	59.5	0.0
18-19 歳(n=26)	23.1	23.1	3.8	50.0	0.0
20-29 歳(n=120)	13.3	13.3	5.8	67.5	0.0
30-39 歳(n=117)	5.1	12.8	1.7	77.8	2.6
40-49 歳(n=110)	10.0	15.5	3.6	67.3	3.6
50-59 歳(n=122)	18.0	17.2	4.1	54.9	5.7
60 歳以上(n=661)	12.3	24.5	1.5	51.9	9.8

障害種別にみると、「知的障害」が「特に変わらない」と回答した割合が7割を超え高かった。【図表 32】

【図表 32】 「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」後のスポーツへの興味・関心（障害種別） [n=1,276]

(単位：%)

	とても高まった	やや高まった	低くなった	特に変わらない	不明
肢体不自由（車椅子 必要）(n=114)	16.7	21.1	2.6	55.3	4.4
肢体不自由（車椅子 不要）(n=368)	12.8	28.5	1.1	49.5	8.2
視覚障害(n=54)	22.2	16.7	7.4	53.7	0.0
聴覚障害(n=86)	16.3	18.6	3.5	51.2	10.5
内部障害(n=129)	12.4	22.5	0.0	57.4	7.8
音声・言語・そしゃく機能障害(n=31)	9.7	22.6	6.5	58.1	3.2
知的障害(n=409)	9.3	12.7	3.2	71.1	3.7
発達障害(n=95)	10.5	16.8	3.2	67.4	2.1
精神障害(n=118)	9.3	18.6	5.1	61.0	5.9
その他（難病など）(n=52)	13.5	17.3	3.8	51.9	13.5

III 調査設問

A) あなたのことを教えてください。【当てはまるものに○をつけてください。】

性別：男性 ・ 女性 ・ 回答しない

年齢：7-12歳 ・ 13-17歳 ・ 18-19歳 ・ 20歳代 ・ 30歳代 ・ 40歳代 ・ 50歳代 ・ 60歳以上

お住まいの地域：

大津市・草津市・守山市・栗東市・野洲市

甲賀市・湖南市・近江八幡市・東近江市・日野町・竜王町

彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町

長浜市・米原市・高島市

障害種別：

肢体不自由（車椅子必要）肢体不自由（車椅子不要）・視覚障害・聴覚障害・内部障害・

音声・言語・そしゃく機能障害・知的障害・精神障害・発達障害・その他（難病など）

手帳の等級：

1級・2級・3級・4級・5級・6級・A・B・手帳なし

B) スポーツ・レクリエーション活動※についておたずねします。

※スポーツ・レクリエーション活動は、陸上、水泳、卓球などの競技スポーツや、風船バレー、ダンスなどのレクリエーションのほか、散歩、ウォーキング、ぶらぶら歩き、階段の昇り降り、ラジオ体操など体を動かす活動全般を含みます。

(1)あなたがスポーツ・レクリエーションを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。【当てはまるものに1つだけ○をつけてください。】

1. 週に3日以上(年151日以上)
2. 週に1～2日(年51日～150日)
3. 月に1～3日(年12日～50日)
4. 3か月に1～2日(年4日～11日)
5. 年に1～3日
6. なし

(1)で1.～5.と答えた方におたずねします。

(2)-①あなたは、過去1年の間にどのようなスポーツ・レクリエーションを行いましたか。

【取り組んだもののなかから、もっとも多いものを3つお書きください。】

1. ()
2. ()
3. ()

(2)-② あなたは、過去1年の間にスポーツ・レクリエーションをどこで行っていますか。

【当てはまるもの、すべてに○をつけてください。】

1. 公共スポーツ施設
2. 民間スポーツ施設
3. 小・中・高等学校
4. 障害者スポーツ専用・優先施設
5. 福祉施設・介護施設
6. 特別支援学校
7. 総合型地域スポーツクラブ
8. 自宅
9. 自宅の近く
10. その他 ()

(3) あなたがスポーツ・レクリエーションを始めたきっかけはなんですか。

【当てはまるもの、すべてに○をつけてください。】

1. 家族にすすめられて
2. 友人にすすめられて
3. 医師にすすめられて
4. 施設のスタッフにすすめられて
5. 学校の先生にすすめられて
6. 会社や所属団体にすすめられて
7. 漫画やドラマ、映画などを見て
8. テレビや新聞、インターネットなどで知って
9. スポーツイベントを見て
10. オリンピック・パラリンピック・プロスポーツの選手にあこがれて
11. イベントや体験会などで興味を持って
12. なんとなく
13. その他 ()

(4) あなたがスポーツ・レクリエーションを行う主な目的はどのようなものですか。

【当てはまるもの、すべてに○をつけてください。】

1. 健康の維持・増進のため
2. 気分転換・ストレス解消のため
3. 楽しみのため
4. 友人や家族との交流のため
5. 障害のない人との交流のため
6. 体型維持・改善のため
7. リハビリテーションの一環として
8. 目標や記録への挑戦のため
9. その他 ()

全員におたずねします。

(5) あなたがスポーツ・レクリエーションに取り組む際の課題は何ですか。

【当てはまるもの、すべてに○をつけてください。】

1. やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない
2. 障害に適したスポーツ・レクリエーションがない
3. 医師に止められている
4. スポーツ・レクリエーションでケガをするのではないかと心配である
5. 体力がない
6. スポーツ・レクリエーションが苦手である
7. 場所がない
8. 施設がバリアフリーでない
9. 交通手段・移動手段がない
10. 金銭的な余裕がない
11. 時間がない
12. 指導者がいない
13. 介助者がいない
14. 仲間がいない
15. 家族の負担が大きい
16. どこでスポーツ・レクリエーションができるのか情報が得られない
17. どんなスポーツ・レクリエーションをできるのか情報が得られない
18. いっしょにスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である
19. 人の目が気になる
20. 特にない
21. その他 ()

(6) あなたは、過去1年の間に「自身がスポーツ・レクリエーションをする」以外にスポーツやレクリエーションに関わりましたか。

【当てはまるもの、すべてに○をつけてください。】

1. 指導・コーチ
2. スポーツイベント※などの運営
3. スポーツイベント※などのボランティア活動
4. スポーツ大会・団体などへの寄付・募金
5. その他 ()
6. 特に関わらなかった

※スポーツイベント：運動会・サークル活動・スポーツ少年団の練習や試合なども含む

(7)-① あなたは、過去1年の間にスポーツ・レクリエーションを観戦しましたか。

【当てはまるもの、すべてに○をつけてください。】

1. テレビ・インターネット・ラジオなどで観戦した
2. スタジアム・グラウンド・体育館・沿道など、現地で観戦した
3. 観戦しなかった

(7)-② 過去1年の間にスポーツ・レクリエーションを観戦した方 におたずねします。

あなたがスポーツ・レクリエーションを観戦した回数を全部合わせると、1年間に何回くらいになりますか。

【当てはまるものに1つだけ○をつけてください。】

1. 週に3回以上(年151回以上)
2. 週に1~2回(年51回~150回)
3. 月に1~3回(年12回~50回)
4. 3か月に1~2回(年4回~11回)
5. 年に1~3回

(8) あなたは、今年度滋賀県で「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」(国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会)が開催されたことで、あなたのスポーツへの興味・関心は高まりましたか。

【当てはまるものに1つだけ○をつけてください。】

1. とても高まった
2. やや高まった
3. 特に変わらない
4. 低くなった

(9) その他、スポーツ・レクリエーションに関するご意見等があれば、お書きください。